

2020年度 第1四半期決算

イオン株式会社

2020年7月8日

連結業績の概況

- ・新型コロナウイルス感染拡大下、地域のライフラインとして食品・生活必需品ニーズに対応
- ・一方で、緊急事態宣言等、各国の規制・要請に沿った臨時休業も実施
- ・臨時休業期間中の固定費やテナント賃料減免相当額等を特別損失に計上

(億円)

	前期実績	当期実績	前期比・差
営業収益	21,163	20,762	-1.9%
営業利益	277	-125	-402
経常利益	242	-160	-403
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-43	-539	-496

- ・事業展開する各エリアで、感染ピーク時と1Q決算取り込み期間が重なる



新規感染者数のピーク時期



1Q連結決算取り込み期間と主な会社

	1月	2月	3月	4月	5月
中国	国際（GMS、SM）、SM、ディベロッパー各社		イオンクレジットサービス（香港）、イオンファンタジー		
アセアン	国際（GMS、SM）、ディベロッパー、総合金融各社		イオンクレジットサービス（マレーシア）、イオンタナシンサップ（タイ）、イオンファンタジー		
日本					

セグメント別業績



(億円)

	営業収益	前期比(%)	営業利益	前期差
連結合計	20,762	-1.9	-125	-402
SM	8,586	+8.4	182	+199
ヘルス&ウェルネス	2,343	+10.0	99	+23
国際	1,189	+1.8	14	-3
サービス・専門店	1,332	-27.1	-119	-40
ディベロッパー	633	-31.6	28	-127
総合金融	1,101	-4.5	-6	-171
GMS	7,061	-6.4	-329	-275

※

- ・一斉休校、外出自粛、在宅勤務により家庭内での食事機会が増加し売上大幅増
- ・ショートタイムショッピングや低価格ニーズが拡大し、首都圏DS、SMが特に伸長

営業利益
前期差 (億円)

+199

【SM事業 営業収益前期比 月次推移】



感染症対策
専門家会議
設置、政府基
本方針発表

休校要請、自
治体から外出
自粛要請

緊急事態宣
言(16日に全
国へ)

緊急事態宣
言解除(14日
～。25日に全
国解除)

東京アラートを
2日に発動、
11日に解除

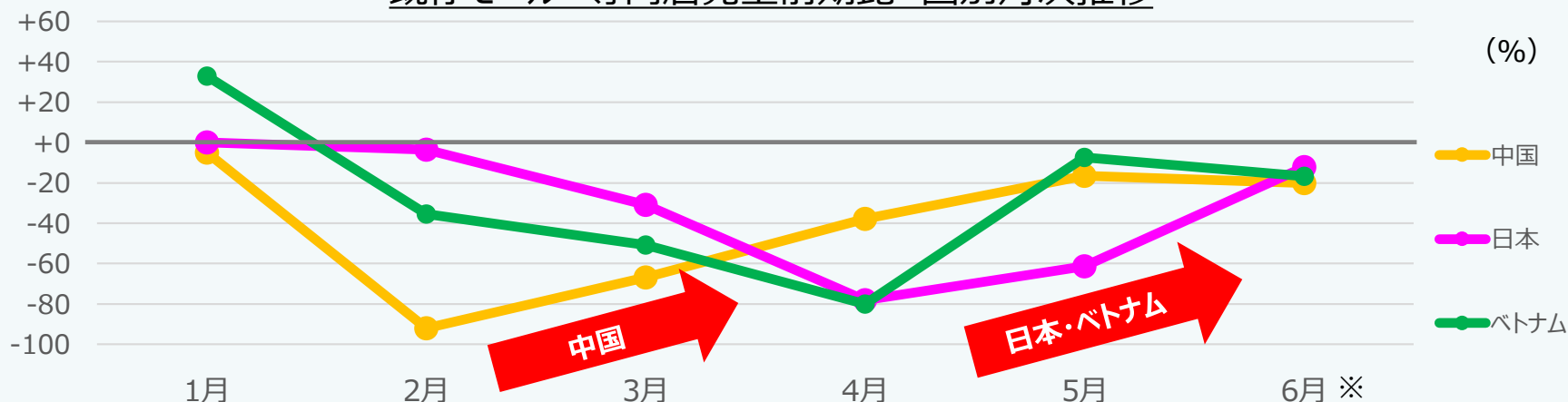
【首都圏SM、DS 売上既存比】

	アコレ	ビッグ・エー	イオンマーケット	まいばすけっと
売上既存比	+32.2	+25.5	+24.9	+19.6

- ・中国は約半数のモールを臨時休業した2月を底として回復基調
- ・日本、ベトナムは4月を底として回復基調。6月の国内物販専門店売上は前年同水準へ
- ・重要な事業パートナーである専門店企業に対し賃料減免を実施

【イオンモール】

既存モール 専門店売上前期比 国別月次推移



地域別利益前期差、営業状況

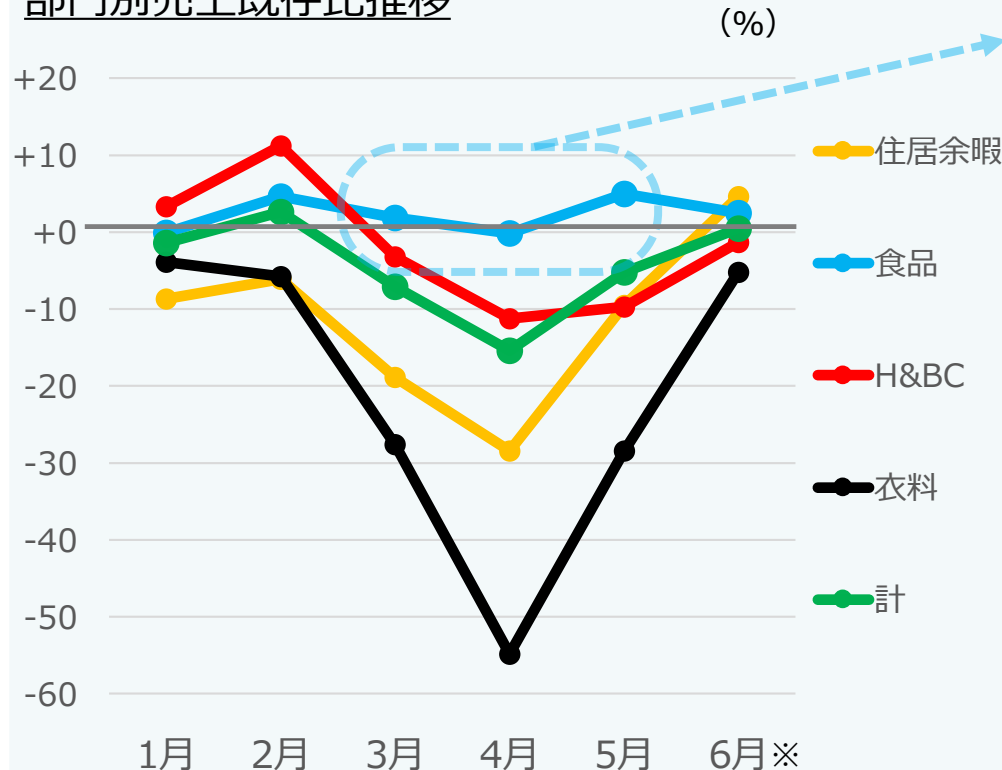
(億円)

地域	1Q決算 取込期間	利益 前期差	営業状況
中国	1～3月	-26	2月中旬に約半数のモールが休業。4/1から全モール営業再開 (シネマ、アミューズメント等の一部業種は政府指示により休業継続中)
アセアン	1～3月	+0	3月下旬、ベトナム・インドネシアの全モール休業。ベトナムは4月下旬、インドネシアは6月中旬から営業再開。カンボジアは時間短縮のみ。
日本	3～5月	-101	4月中旬に全モール休業。5/28に全面再開

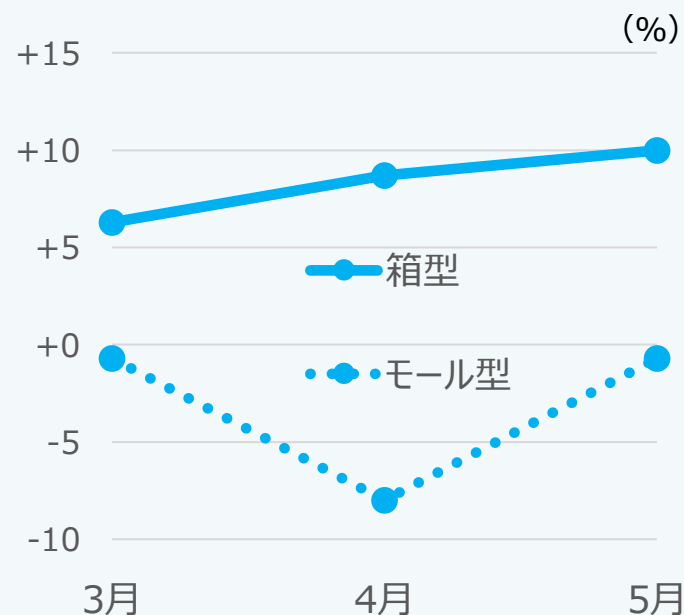
- ・緊急事態宣言に伴う外出自粛が衣料売上に影響
- ・モール専門店臨時休業の影響を受けるが、箱型GMSの食品売上は大幅伸長
- ・6月は住居余暇商品売上が前年実績を上回るまで伸長。衣料も大幅回復※

【イオンテール】

部門別売上既存比推移



店舗タイプ別 食品売上既存比推移



モール専門店休業
4/8～ 7都府県
4/18～ 全国

- ・各国の活動制限措置により、支店を一時休業。債権回収活動に影響
- ・マレーシアでは中央銀行が6か月の返済期限猶予を通過
- ・将来的な貸倒リスクに備え、貸倒引当金繰入額が増加

【海外 主要展開国の状況】

		3月	4月	5月	6月
タイ	規制	非常事態宣言 ・3/26～7/31まで延長決定。5/2以降、順次緩和措置			
	支店の状況		一部休業	全店営業再開	
マレーシア	規制	活動制限令（3/18～）→条件付き活動制限令（5/4～）→回復のための活動制限令(6/10～)			
	支店の状況		全支店休業	一部を除き営業再開	

【国内 カードショッピング取扱高の月次推移】

- ・5月はSM、ドラッグストア、ECマースに加え、家電・家具が大幅伸長
- ・6月は前年取扱い実績超過の見通し



新しい生活様式のためのイオンの取り組み



【新聞広告（6/4）】

【イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル（6/30）】

AEON

日々の暮らしを、
新しい日常を、
地域の皆さまと一緒に守りたい

— イオンの約束 —

- 従業員のマスク着用と手指の消毒
- 従業員の検温の実施と健康管理の徹底
- 売場、お買物カゴ、フードコート、エスカレーターの手すりやエレベーターの操作ボタンなど、共用設備の消毒徹底
- 店内換気の実施や販売方法の見直し
- 飲食店舗、フードコートやイートインコーナーの席数制限

— お客さまへのお願い —

- ご来店時のマスク着用
- 手指の消毒・検温の実施
- エスカレーター、エレベーターでの移動やレジでお並びいただく際は一定間隔を確保
- 店内混雑時の入場制限へのご協力
- お会計時の電子決済やセルフレジのご利用

地域のライフラインとして営業を継続し、この社会的危機を乗り切るためにも、イオンは、地域の皆さまと一緒に、新しい生活様式を築いていきたいと考えております。

この非常時の中で、いつもと変わらず、笑顔で働く従業員は私たちの誇りです。

これからも、イオンビーズは心を一つにして、地域の皆さまとともに暮らしを支えてまいります。

より安心してお買物いただける環境づくりのため、ご協力をお願いいたします。



AEON



感染症拡大 防止への対応

イオンの防疫の誓い

- イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により、防疫対策を実行します。
- イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します。
- イオンは、お客さまと一体となって防疫体制を構築します。
- イオンは、デジタルを活用しお客さまのタッチポイントを減らす施策、社会的な距離を確保した施設への変更などに投資を実施します。

＜お客さまへのご協力のお願い＞



入口での手指の消毒の
実施をお願いします



店内ではお客さま間
での距離確保を
お願いします



店内でのマスク着用を
お願いします



体調がすぐれない時は
来店をご遠慮ください

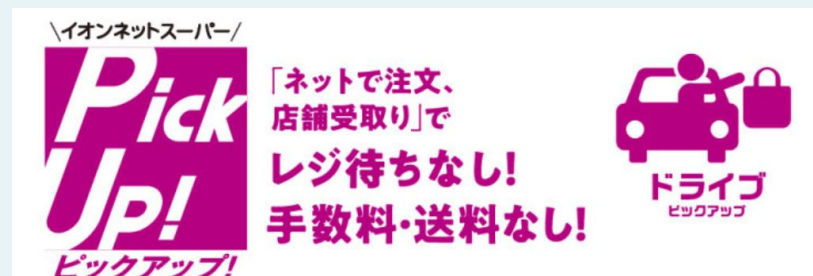
物理的なタッチポイントを減らす、買い物時間短縮への取り組み

ネット スーパー (イオンリテール)

第1四半期実績

新規登録会員数 前期比 4倍超
売上高 前期比 2割増

ドライブピックアップでの店舗受け取り
開始。61店舗に拡大（7/7時点）



スマートフォン 決済 (U.S.M.H)

U.S.M.H公式モバイルアプリを使った、
お客さまによるセルフスキャン＆決済
サービス Scan&Go をカスミにて
拡大中。
先行4店舗に加え、6月中旬より
22店舗拡大し計26店舗へ



スマートフォン 決済 (イオンリテール)

貸出用専用スマートフォンでお客さま自身がお買物を
しながらスキャンし専用端末でお会計する「レジゴー」。
現在6店舗、本年度中に20店舗導入予定

キャッシュレス 推進

7/1より順次、全国約1,630店舗にて
総務省支援端末を設置し、
電子マネー「WAON」でのマイナポ
イントの予約・申込みを開始。
登録アプリも7/1～稼働



・サービス・専門店各社を整理する一方、成長領域への展開を推進

主な終了・売却事業		主な新規事業	
ローラ アシュレイジャパン (2018)	レディスウェア、ホーム ファニング等の販売	イオンサヴール (2016)	冷凍食品専門店 「ピカール」
タルボットジャパン (2020)	レディスウェア、服飾 小物等の販売	ビオセボン・ジャポン (2016)	オーガニックSM 「ビオセボン」
ツヴァイ (2020)	結婚相手紹介 サービス	イオンレーヴコスメ (2019)	ボタニカルビューティケ アブランド 「イヴ・ロシェ」
クレアーズ日本 (2020)	カジュアルアクセサリ の販売	オカド (2019)	次世代ネットスーパー (2023年開始)
イオンフォレスト (2020)	化粧品販売 「ザ・ボディショップ」	イオン・シグナ・スポーツ・ ユナイテッド (2020)	スポーツEC

2020年度 業績予想

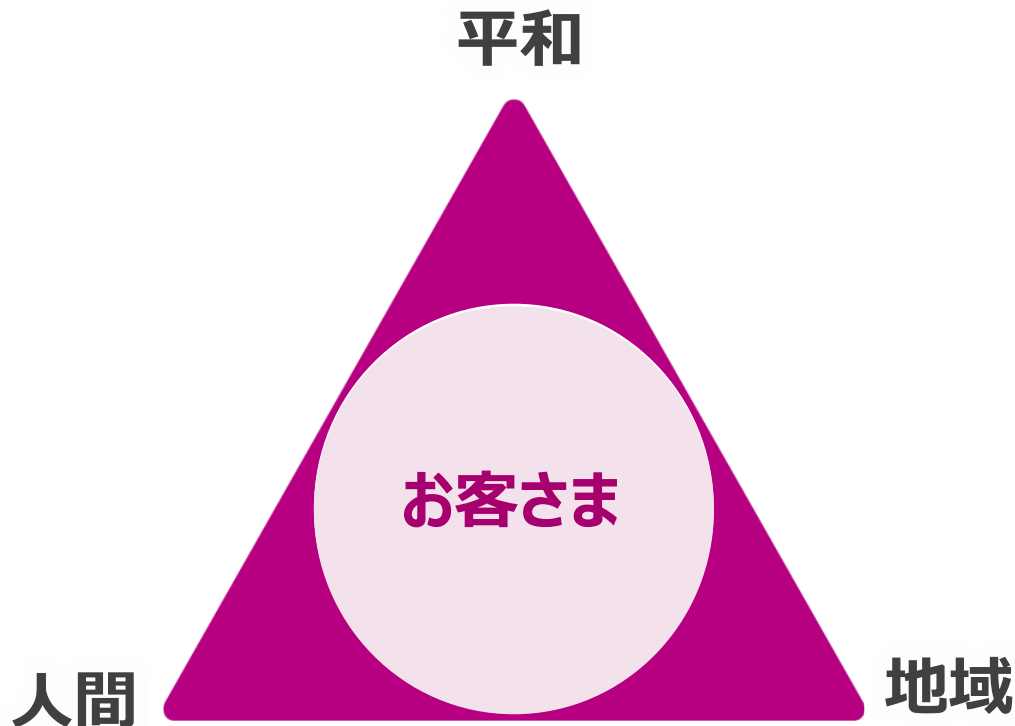


- ・国内の緊急事態宣言は解除されたが、再び新規感染者が増加傾向
- ・世界的にも依然として新規感染者数が増加
- ・足元の業績は回復基調も、第2波の可能性と業績への影響を精査中

(億円)

	予想	前期比・差
営業収益	80,000 ~84,000	▲7.0% ~▲2.4%
営業利益	500 ~1,000	▲1,655 ~▲1,155

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



平和：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

人間：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

地域：イオンは、地域の暮らしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、
「お客さま第一」を実践してまいります。

参考資料

2020年5月末 連結貸借対照表



(億円)

資産の部 (主要項目のみ)	2020/2	2020/5	前期末差	負債・純資産の部 (主要項目のみ)	2020/2	2020/5	前期末差
現預金	12,219	12,456	+ 236	支払手形・買掛金	10,684	10,751	+ 67
受取手形・売掛金 (割賦売掛金含む)	16,267	15,294	▲ 972	有利子負債 (金融子会社除く)	19,417	21,529	+ 2,112
たな卸資産	5,757	5,697	▲ 59	有利子負債 (金融子会社)	10,649	10,691	+ 42
営業貸付金・銀行業 における貸出金	24,831	26,329	+ 1,498	銀行業における預金	37,843	38,081	+ 238
有形固定資産	30,943	30,727	▲ 216	負債合計	92,134	95,189	+ 3,055
投資その他資産	9,531	9,904	+ 373	株主資本	10,258	9,546	▲ 711
				純資産合計	18,492	17,554	▲ 937
資産合計	110,626	112,744	+ 2,117	負債・純資産合計	110,626	112,744	+ 2,117

参考資料 1

ダイエー再編関連企業の2020年度第1四半期実績



(億円)

事業	社名	営業収益		営業利益	
		実績	前期比	実績	前期差
GMS	イオンリテールストア ※関東、近畿、名古屋の 旧ダイエーGMS	270	-15.6%	-17	-2
	イオンストア九州 ※九州の旧ダイエーGMS	114	-6.3%	-3	+2
SM	ダイエー	789	+9.0%	18	+26

		2019年度 (実績)	2020年度 (予想)
年間配当金	第2四半期末	普通配当 17円 <u>記念配当 1円</u> 計 18円	普通配当 18円
	期末	普通配当 17円 <u>記念配当 1円</u> 計 18円	普通配当 18円
	合計	普通配当 34円 <u>記念配当 2円</u> 計 36円	普通配当 36円

2020年度の執行体制



代表執行役会長		岡田 元也
代表執行役社長		吉田 昭夫
代表執行役副社長	財務・経営管理担当	山下 昭典
	SM・商品物流担当	藤田 元宏
執行役副社長	デジタル・中国担当	羽生 有希
執行役	アセアン担当	岡崎 双一
	物流担当	柴田 英二
	環境・社会貢献・PR・IR担当	三宅 香
	人事・管理担当兼リスクマネジメント管掌	渡邊 廣之

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている 見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- この資料の著作権はイオン株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。